


令和8年度 新人看護師 クリニカルラダーレベルⅠ 年間教育計画

レベル		レベルⅠ	4月	5月	6月
定義 到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ○病院の理念を理解し、組織の一員として、助言を受けて行動できる ○正確な知識・技術を習得し、マニュアルに沿い助言を受けて、安全に看護を提供できる ○チームにおけるメンバーの役割を理解し、助言を受けて協働できる ○自己の課題を認識し、助言を受けて学習できる ○患者・家族の意向を知ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①職場の環境に慣れる ②指導者に適宜報告ができ、わからないことを質問できる ③一日の看護業務の流れが理解できる <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> □病院・看護部の理念・方針・部署の目標を理解し、看護者としての自覚を持つことができる □部署の特性と業務内容を理解できる □ルールを守り、きめられた業務が実践できる □業務上必要な連絡や報告を伝達することができる 		
業務内容			指導者と一緒に	5月：プリセプター決定・夜勤業務見学	
ニーズをとらえる 力	レベル毎の 目標	助言を得て患者や状況（場）のニーズをとらえる		<ul style="list-style-type: none"> □カルテでの情報収集ができる □患者の変化・指示変更・疑問点を指導者に報告できる □熱表記入・カルテ記入ができる 	
	行動目標	<ul style="list-style-type: none"> □助言を受けながら患者に必要な身体的、精神的、社会的な側面から必要な情報収集ができる □患者の状況から緊急度をとらえることができる 			
ケアする 力	レベル毎の 目標	助言を得ながら、安全な看護を実践する		<ul style="list-style-type: none"> □必要な看護技術が習得できる 	
	行動目標	<ul style="list-style-type: none"> □指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる □指導を受けながら、患者に基本的援助ができる □看護技術やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる 	<ul style="list-style-type: none"> バイタルサインのチェック・注入食・採血・点滴・吸引・口腔ケア・トランスファ・おむつ交換・ポジショニング・排泄介助・嚥下障害患者の食事介助・褥創処置・導尿 	<ul style="list-style-type: none"> □集合研修（別紙） 	 <p>6月：リフレッシュ研修 6月：1回目技術チェック</p>
協働する 力	レベル毎の 目標	関係者と情報共有できる		<ul style="list-style-type: none"> □自己の能力を超えたケアが求められる場合は指導者に相談できる □インシデントレポートの意義を理解し、インシデントをタイムリーに報告することができる 	
	行動目標	<ul style="list-style-type: none"> □助言を受けながら患者を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる □助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる □助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる □患者を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる □連絡・報告・相談ができる 		<ul style="list-style-type: none"> □医療安全・感染対策マニュアルに基づいて行動できる 	
意思決定 を支える 力	レベル毎の 目標	患者や周囲の人々の意向を知る			
	行動目標	<ul style="list-style-type: none"> □助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる 			

レベル		レベルⅠ	7月	8月	9月	10月
定義 到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ○病院の理念を理解し、組織の一員として、助言を受けて行動できる ○正確な知識・技術を習得し、マニュアルに沿い助言を受けて、安全に看護を提供できる ○チームにおけるメンバーの役割を理解し、助言を受けて協働できる ○自己の課題を認識し、助言を受けて学習できる ○患者・家族の意向を知ることができる 	① チームメンバーの一員としての自覚が持てる ② 状況に応じて報告・連絡・相談ができる ③ 一日の業務計画を立て、それに則り看護ケアを実践できる 【到達目標】 <input type="checkbox"/> 患者のケアの優先度を考え、計画的に行動できる <input type="checkbox"/> 看護チームの一員であることを認識して行動できる <input type="checkbox"/> 他者の発言に耳を傾けることができる <input type="checkbox"/> 入院中の患者の全体像を理解することができる			
業務内容			日勤1人立ち (2階) 8月：土日日勤見習い 9月：夜勤見習い (3階) 9月：土日日勤見習い 10月：夜勤見習い			
ニーズをとらえる力	レベル毎の目標	助言を得て患者や状況(場)のニーズをとらえる	<input type="checkbox"/> 患者の病態の程度を知ることができる <input type="checkbox"/> 患者の状態アセスメントに必要な情報を上げることができる <input type="checkbox"/> 患者の問題点を上げることができる <input type="checkbox"/> 患者の安全が保たれているかを確認できる			
	行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながら患者に必要な身体的、精神的、社会的な側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 患者の状況から緊急度をとらえることができる				
ケアする力	レベル毎の目標	助言を得ながら、安全な看護を実践する	<input type="checkbox"/> 必要な看護技術が習得できる 技術チェックで習得できていない看護技術に関して積極的に実施できる <input type="checkbox"/> 集合研修(別紙) 9月：2回目技術チェック 10月：リフレッシュ研修			
	行動目標	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながら、患者に基本的援助ができる <input type="checkbox"/> 看護技術やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる				
協働する力	レベル毎の目標	関係者と情報共有できる	<input type="checkbox"/> 急変時の自己の役割を説明することができる			
	行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながら患者を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる <input type="checkbox"/> 患者を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる <input type="checkbox"/> 連絡・報告・相談ができる				
意思決定を支える力	レベル毎の目標	患者や周囲の人々の意向を知る				
	行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる				

レベル		レベルⅠ	11月	12月	1月	2月	3月		
定義 到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ○病院の理念を理解し、組織の一員として、助言を受けて行動できる ○正確な知識・技術を習得し、マニュアルに沿い助言を受けて、安全に看護を提供できる ○チームにおけるメンバーの役割を理解し、助言を受けて協働できる ○自己の課題を認識し、助言を受けて学習できる ○患者・家族の意向を知ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ① メンバーシップを発揮できる ② 1日の業務計画を立案し、適宜修正や変更をしながら看護実践部署の専門性・特殊性を理解できる ③ チームメンバーとしての役割を理解し、行動ができる <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> チームメンバーの役割と責任を果たすことができる <input type="checkbox"/> 受け持ち患者を持ち、その人にあった看護を計画・実践ができる <input type="checkbox"/> 患者を一人の「人」として全体像をとらえることができる 						
業務内容			1月：受け持ち患者を持つ						
ニーズをとらえる 力	レベル毎の 目標	助言を得て患者や状況（場）のニーズをとらえる	<input type="checkbox"/> 看護目標を設定できる <input type="checkbox"/> 患者の状態・問題点・看護目標に一貫性のある計画を立てることができる <input type="checkbox"/> 指導のもと、受け持ち患者の計画の立案・修正ができる <input type="checkbox"/> 看護計画に基づいた看護ケアの実践ができる						
	行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながら患者に必要な身体的、精神的、社会的な側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 患者の状況から緊急度をとらえることができる							
ケアする 力	レベル毎の目標	助言を得ながら、安全な看護を実践する	<input type="checkbox"/> 必要な看護技術が習得できる 技術チェックで習得できていない看護技術に関して積極的に実施できる 根拠に基づいた看護技術が習得できている <input type="checkbox"/> ノロウイルス・インフルエンザ対策が理解できる <input type="checkbox"/> 集合研修（別紙） 3月：3回目技術チェック 3月：リフレッシュ研修						
	行動目標	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながら、患者に基本的援助ができる <input type="checkbox"/> 看護技術やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる							
協働する 力	レベル毎の 目標	関係者と情報共有できる							
	行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながら患者を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる <input type="checkbox"/> 患者を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる <input type="checkbox"/> 連絡・報告・相談ができる							
意思決定を 支える 力	レベル毎の 目標	患者や周囲の人々の意向を知る							
	行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる							

